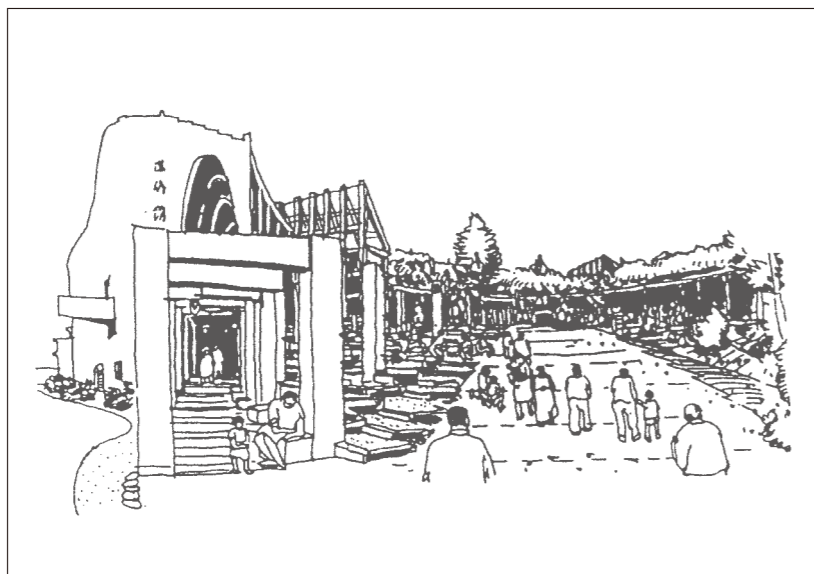


# 榎本町政の2年間の歩みは

## 成長する宮代町実現に全力投球



唐沢捷一 議員



成長する町のシンボル「進修館」

**問** 榎本町政の任期は、折り返しが過ぎた。残された任期中に町民との約束を、どの様に果たしていくのか。

**答 町長** 私は町長就任以来、成長する宮代町を実現するために、

- ① 全力で町政に取り組み
- ② 行財政改革を推進する
- ③ 町民の声を大切にする

以上の3つの柱を基本に町政運営にあたってきた。今後とも「豊かさを実感できるまち」「子育てに喜びを持てるまち」「高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち」にする。そのことが「成長する宮代町」を実現できると思いで全力で町政運営に当たっていきたい。

**東武動物公園駅(西口)の整備事業は**

**問** 町の表玄関として多くの町民が、早期完成を期待している。その取り組みは。

**答 まちづくり建設課長** 町の表玄関である動物公園駅(西口)です。早期整備に向けて、今後も東武鉄道側と鋭意、接触を続けていきたい。

**旧分教所跡地の有効利用を**

**問** 宮代2丁目地内の町有地の有効利用を。

**答 企画財政課長** 当面は現状のまま維持管理し、状況を見ながら公園も含めて有効な利用方法について検討していきたい。

# 直ぐやる課の設置を

## 組織改編の効果を見極め検討したい



小河原正 議員



直ぐやる課の窓口を

**問** 町民の要求・要望の対応として、直ぐやる課を設置するか、専門窓口を設けるかして町民の声を早急に解決する努力を。

**答 総務課長** 町民の皆さまの声を、町政に素早く反映させるといのは、町政運営における原点であると考えているし、その点を常に意識して、公務を進めるのが職員の役目であると考えている。

一方で、町民の皆さまが行政の対応について、十分ご満足いただけてない状況があるのも事実であると思う。

町では今年度、組織体制を見直し、所管する業務の明確化を図り、管理職職員によるきめ細かく具体的な指示命令による事務の効率化などを目指している。提案のあった「直ぐやる課」または「専門窓口の設置」については、組織改編の効果や成果などを見極めながら、検討していく必要があると考えている。

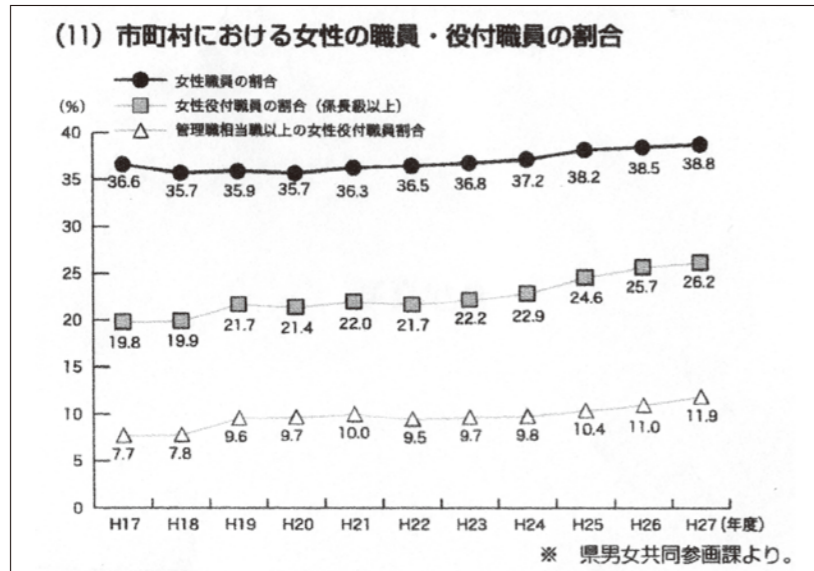
**問** 町長の考えは。

**答 町長** ご意見を真摯にうけたまわりたい。宮代町は組織的に大きくなく、組織改編したことにより、各課の仕事がある程度明確になったのではないかと。

当面は町の声をすばやく対応できるよう職員の意識改革を確立していき、その上で直ぐやる課の効果を検討したい。

# 女性職員の活躍のための計画を策定したか

## 策定期限3月末を目途に進めている



女性職員は半分いるのだが…



角野 由紀子 議員

**問** 女性活躍推進法が成立しているが、町の行動計画の取り組み状況は。

**答 総務課長** 数値目標を掲げた「特定事業主行動計画」を策定することが義務付けられているため、現在策定作業を進めている。

**問** 把握する項目、改善すべき事情の分析についてはどのような形になっているか。

**答 総務課長** 採用した職員に占める女性職員の割合は50%であり、継続勤務年数の男女の差異は約1年。管理的地位にある職員に占める女性職員の割合は、68%である。

**問** トップによるリーダーシップの発揮が重要だが。

**答 町長** 79人の女性職員のうち、主査級以上の職員は、7人である。女性職員

の視点や強みを十分に活かしていける組織づくりが喫緊の課題である。計画の策定を契機に、女性職員の個性と能力が発揮できる職場環境を整えていきたい。

**オリジナル婚姻届**

**問** 自治体で記念用に渡せる婚姻届や出生届を持たせてあげる工夫が始まっているか。

**答 住民課長** ご当地の婚姻届を用意している市町村もある。「町のPR」や「おもてなしの対応」という視点から関係課と調整、研究する。



小中学校にエアコン設置で勉強に集中できる環境を



山下 秋夫 議員

## 学習環境の向上のため必要と考える

# 小中学校の全教室にエアコン設置を

**問** 県内各自治体の小中学校エアコン設置状況と考える。

**答 教育推進課長** 平成27年4月時点で概ね設置済の市町村は、22市11町1村の合計34団体となっている。教育委員会も学習環境の向上のため必要と考えている。

**問** 平成28年3月時点で予定も含め9割近くの自治体で設置を決めている。町長の考えは。

**答 町長** 国の補正予算を活用し、小学1年生と中学3年生に設置。その後、予算化したが議会の同意を得られなかった。公平性の観点から全普通教室につけるべきと考える。

**問** 国民健康保険税の引き下げを

**答 住民課長** 平成27年度に国から町へ公費が約2,700万円拡充される。しかし、これだけでは国保財政は大きく改善されず、国保税の見直しに着手することにした。

**問** 県道や町道の歩道整備を求める。

**答 まちづくり建設課長** 宮代郵便局付近県道の歩道整備は、支障となる物件がなくなった時点で買収する予定である。町としても余裕地があれば県にお願いする。須賀小学校わきの道路は、平成28年度予算の工事で白線などで対応する。

# 道仏土地区画整理地内における安全対策は 順次安全対策に取り組んでいく

## 所有者不明の「空き地」対策は

### 顧問弁護士などと相談し、対応していく



丸藤栄一 議員

今後は町顧問弁護士などと相談し、適切な対応が取れるようにしていきたい。  
**危険な五差路の安全対策を**

**問** 信号機が設置されない中、県道蓮田杉戸線の歩道拡幅はどこまで進んでいるのか。

**答** まちづくり建設課長  
地権者に歩道の必要性を説明し、理解を得られた上で県土整備事務所と連携して歩道拡幅計画の作成、用地交渉、整備を進めていきたい。

#### 町内循環バスの増便を

**問** 現行では11時台と14時台の時間帯が空白となっている。利用者の中には不便と感じている方も多く、改善を。

**答** 企画財政課長  
利用者の利用状況と、運転手の安全運行上、十分な休息時間が取れるのかを見極めながら、検討していきたい。



空き地に壊れかけた建物（倉庫？）が…

**問** 東地内の「空き地」は、雑草の繁茂が著しく、周辺住民も「火災が心配」などと困っている。原因は地主が死亡して土地の所有者が分からなくなっているとのこと。所有者不明の空き地対策は。

**答** 町民生活課長  
町は相続権を有すると思われる方に連絡を取り、適切な土地の管理の依頼をした。しかし、所有者が死亡してから年数が経っていることや、土地の所有状況が複雑なため「自分に所有権があるわけではない」との結論に至った。

**問** 宮代通り線の交通安全対策は。

**答** 町民生活課長  
道路共用開始時における警察協議において、新たに設置される生活道路については、規制をかけない方針とのことだが、一部看板を設置して注意喚起を促しているところである。

しかし、事故が多発している状況から、規制・標識の設置について、警察へ要望。また、注意喚起の路面標示も併せて検討していく。

**問** 姫宮落川沿い・線路沿いの防犯灯の増設は。  
**答** 町民生活課長  
区長・自治会長からの要望とは別に対応しており、姫宮落川沿い、線路沿いの危険な場所については、土地区画整理組合と調整・検討してい

**問** 姫宮落川沿いに危険防止、転落防止の柵設置は。  
**答** 町民生活課長  
姫宮落川は埼玉県において河川改修計画があり、現在、東武鉄道の鉄橋拡幅工事を実施しており近々完成する予定である。

その後、土地区画整理地内を含む県道の道仏橋まで河川改修される予定。現在の川沿いの道路は、安全対策として、河川側路肩へ路肩注意杭を等間隔に設置している。河川改修の完了後、道路を4mから6mに拡幅し、転落防止柵を設置する予定である。



注意喚起の看板・標示を早急に



関 弘秀 議員